

令和 3 年度第 1 回神奈川県在宅医療推進協議会及び神奈川県地域包括ケア会議 次第

日 時 令和 3 年 11 月 22 日(月)18:30~20:30

場 所 ZOOM 会議 (事務局 神奈川県庁西庁舎 8 階会議室)

1 開 会

2 議 題

(1) 委員長及び副委員長の選任について

(2) 協議事項

ア 入退院調整窓口調査について

イ 部会 (訪問看護部会、リハビリテーション部会) について

(3) 報告事項

ア 在宅医療と介護の連携に係る県の主な取組について

イ 在宅医療・介護連携推進事業に係る 4 つの場面※の状況について

※日常の療養支援・入退院支援・急変時の対応・看取り

ウ 神奈川県内市町村の地域ケア会議の状況について

エ 地域医療介護総合確保基金に係る令和 3 年度計画について

オ 神奈川県保健医療計画の在宅医療指標進捗状況について

3 閉 会

【配布資料】

- 資 料 1 県内病院における入退院調整窓口一覧について
- 資 料 1 (参考資料) 見本「県内病院における入退院調整窓口一覧」(抜粋) 等
- 資 料 2 在宅医療推進協議会における部会について (訪問看護部会、リハビリテーション部会)
- 資 料 2 (参考資料) 部会設置要綱等
- 資 料 3 在宅医療と介護の連携に係る県の主な取組み (令和 3 年度)
- 資 料 3-2 保健福祉事務所で実施・予定している会議、研修及び講演会 (令和 3 年度)
- 資 料 4 在宅医療・介護連携推進事業に関する市町村の取組概要
- 資 料 4 (参考資料) 在宅医療・介護連携推進事業に関する市町村の取組状況 (令和 3 年 9 月)
- 資 料 5 神奈川県内市町村の地域ケア会議の状況について
- 資 料 5-2 令和 2 年度 地域ケア会議の概要及び県の取組について
- 資 料 5-2 (参考資料) かながわケアラー支援ポータルサイト等
- 資 料 6 地域医療介護総合確保基金に係る令和 3 年度計画について
- 資 料 7 神奈川県保健医療計画の在宅医療指標進捗状況について
- 資 料 8 設置要綱 (神奈川県在宅医療推進協議会・神奈川県地域包括ケア会議)

令和3年度第1回神奈川県在宅医療推進協議会及び神奈川県地域包括ケア会議 委員名簿

NO	区分	機関名	職名・氏名	出欠	備考
1	保健医療関係者	公益社団法人神奈川県医師会	理事 古井 民一郎 (ふるい たみいちろう)	出席	新
2		公益社団法人神奈川県医師会	理事 磯崎 哲男 (いそざき てつお)	出席	新
3		公益社団法人神奈川県歯科医師会	常任理事 大持 充 (おおもち みつる)	出席	
4		公益社団法人神奈川県薬剤師会	常務理事 佐藤 克哉 (さとう かつや)	出席	
5		公益社団法人神奈川県看護協会	常務理事 杉浦 由美子 (すぎうら ゆみこ)	出席	新
6		公益社団法人神奈川県病院協会	副会長 窪倉 孝道 (くぼくら たかみち)	出席	
7		神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会	副会長 相川 浩一 (あいかわ こういち)	出席	
8		一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会	会長 福田 美香 (ふくだ みか)	出席	新
9	関係者 福祉	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	地域福祉部部长 渡邊 朋子 (わたなべ ともこ)	出席	
10	介護保険事業者職員	一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会	理事 甘利 悟 (あまり さとる)	出席	
11		一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会	理事長 諏訪部 弘之 (すわべ ひろゆき)	出席	新
12		一般社団法人神奈川県訪問看護ステーション協議会	会長 横山 郁子 (よこやま いくこ)	出席	
13		公益社団法人神奈川県介護福祉士会	理事 鈴木 真 (すずき まこと)	出席	
14	セブ地域包括支援 職	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 横浜市篠原地域ケアプラザ	所長 高橋 真登香 (たかはし まどか)	出席	
15		綾瀬市地域包括ケア推進課 綾瀬市基幹型地域包括支援センター	参事兼課長 比留川 龍 (ひるかわ のぼる)	出席	
16	地域関係者 団体	神奈川県民生委員児童委員協議会	副会長 三觜 壽則 (みつはし としのり)	出席	
17		公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会	理事長 樋口 恢作 (ひぐち かいさく)	出席	
18	市町村職員	横浜市医療局疾病対策部がん・疾病対策課	在宅医療担当課長 鎌田 学 (かまた まなぶ)	出席	新
19		横浜市健康福祉局高齢健康福祉部地域包括ケア推進課	課長 鴨野 寿美夫 (かもの すみお)	出席	新
20		川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室	専門支援担当課長 津田 多佳子 (つだ たかこ)	出席	
21		相模原市健康福祉局保健衛生部医療政策課	参事(兼)課長 沖本 健二 (おきもと けんじ)	出席	新
22		相模原市健康局地域包括ケア推進部地域ケア推進課	参事(兼)課長 高本 辰彦 (たかもと たつひこ)	出席	
23		横須賀市民生局福祉部地域福祉課	課長(次長) 藤崎 啓造 (ふじさき けいぞう)	出席	
24		藤沢市福祉部地域共生社会推進室	室長 玉井 知門 (たまい ともゆき)	欠席	
25		藤沢市福祉部福祉事務所高齢者支援課	課長補佐 田口 真由美 (たぐち まゆみ)	出席	新
26		茅ヶ崎市福祉部高齢福祉介護課	課長兼参事 一杉 かおる (いちすぎ かおる)	出席	
27		茅ヶ崎市保健所地域保健課	地域保健課 課長 高瀬 達也 (たかせ たつや)	出席	
28	関係者 HWC	小田原保健福祉事務所 (神奈川県保健福祉事務所等所長会)	所長 長谷川 嘉春 (はせがわ よしはる)	出席	新
29	学識経験者	学校法人日本大学名誉教授	大道 久 (おおみち ひさし)	出席	
30		神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科	准教授 大島 憲子 (おおしま のりこ)	出席	

令和3年度第1回神奈川県在宅医療推進協議会及び神奈川県地域包括ケア会議

【事務局出席者(予定)】

NO	事務局・所属・職名	氏名
神奈川県在宅医療推進協議会 事務局		
1	健康医療局保健医療部医療課	課長 一柳 和美
2		副課長 小野里 智彦
3	地域包括ケアグループ	グループリーダー 植木 由紀子
4	(同上)	主査 大森 一孝
5	(同上)	主事 草川 賢也
6	(同上)	主事 保月 雛
7	人材確保グループ	主査 小片 緑
神奈川県地域包括ケア会議 事務局		
8	福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課	課長 山本 千恵
9		副課長 石井 由里子
10	企画グループ	グループリーダー 依田 真一
11	同上	副主幹 秋好 偉聡
12	同上	主査 水島 徹太郎
13	高齢福祉グループ	グループリーダー 春川 有希子
14	同上	副主幹 加藤 奈津子
15	同上	副技幹 横溝 由佳
16	高齢施設グループ	グループリーダー 河村 映子
17	同上	副主幹 望月 未央
18	福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課	主任主事 岩田 直人



県内病院における 入退院調整窓口一覧について

神奈川県健康医療局保健医療部医療課
令和3年11月22日(月)

1 窓口情報一覧の概要

■ 概要

- ・ 医療介護連携の推進及び入退院調整の円滑化に資するため、神奈川県内の病院における入退院調整窓口に関する調査を実施（R2.9月）
- ・ 一覧化（参考資料 1 参照）の上、令和2年12月に医療・介護関係団体、市町村へ周知及び提供した（R2.12月）

【周知先・周知方法】

- 各地域包括支援センター
- 市町村が実施する在宅医療・介護連携推進事業で運営する「在宅医療・介護連携に関する相談窓口」
- 医療・介護関係団体（神奈川県病院協会、神奈川県医師会、神奈川県介護支援専門員協会 等）各会員
- 医療介護関係団体のホームページ（各団体の会員専用サイトで管理）等

（参考）

これまでの経緯・検討経過については、参考資料 2 を参照

2-1 本取組みの現況 (R3.6月)

■ 県介護支援専門員協会へのアンケート調査

- ・ 窓口情報一覧の活用状況等を活用頻度が高いと思われる県介護支援専門員協会へアンケート調査した。

(1) 活用状況

活用している (3件) 活用していない (12件)

(2) 主な意見の項目 ※複数回答あり

- ア. 情報内容等 (11件)
- イ. 周知について (14件)
- ウ. 活用について (20件)

2-2 本取組みの現況 (R3.6月)

(ア) 情報内容等

- ・ 情報内容や項目は良い (3件)
- ・ 定期的な情報更新をすべき (3件)
- ・ 情報更新時の対応 (周知・再配布.etc)が明確であると良い (3件)
- ・ インターネット等のタイムリーな情報更新ができると活用しやすい (2件)

(イ) 周知について

- ・ 存在を知らなかった (3件)
- ・ 周知先の提案 (5件)
(…高齢者施設 2件、県内全居宅介護支援事業所 3件)
- ・ どこに配布・周知してよいか知りたい (2件)
- ・ もっと周知していくべき (4件)

(ウ) 活用について

- ・ 所管地域の情報は把握済のため活用していない (12件)
- ・ 圏域外との調整に役立ちそう (8件)

3-1 本取組みの現況 (R3.10月)

■ 本協議会委員へのアンケート調査について

本取組みの課題を整理するため、窓口一覧の活用状況等について、本協議会委員へ事前照会した。

活用団体	工夫・修正点(項目について)	工夫・修正点(提供・周知方法について)
保健医療関係団体 4/7団体	<ul style="list-style-type: none"> ・連携をより密に行う地域内では、これらの連絡先表を参考に発展させて、各窓口の担当者氏名など入れて年1回更新し、運用している(県MSW協会) ・入院時の連絡先がもう少し分類化できたら専門病棟の有無(精神科や認知症)や対応可能か分かると良い(県病院協会) ・対応可能時間、ホームページアドレス等の追加(県薬剤師会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答していただいた病院の院長、診療部長などの責任者や、その入院調整窓口にも提供する(県医師会)
福祉・介護団体 1/7団体	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時、退院時は中央寄せではなく、左に寄せて貰ったほうがよい(県介護福祉士会) ・項目はいい、地域別に分けるのも良い、掲載の順番をアイウエオ順など検索しやすくしてはどうか、予算があれば冊子にして配布など(県ケアマネ協会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会として情報提供を受けた場合にどこまで配布してよいか分かると当会でも会員に配布ができる(県介護福祉士協会) ・市からの周知もなく、協会としても特に周知を来てこなかった、通知を逃した場合(気づかない場合)どこに照会すればいいか分からない。(県ケアマネ協会)

5

3-2 本取組みの現況 (R3.10月)

(続き)

活用	工夫・修正点(項目について)	工夫・修正点(提供・周知方法について)
行政等 4/14団体	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡先欄のレイアウトが工夫できるとよい。(退院時は介護保険サービス利用有無で連絡先が変わらないのであれば分けなくてもよいのではないか。)(横浜市) ・「川崎市病院担当窓口一覧表」では、入院時の連絡方法として持参・FAX・電話の手段を記入する欄を設けています。(川崎市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者だけが閲覧可能なページ(WEB)に掲載してはどうか ・ケアマネジャー以外の、退院調整に関わる多職種団体(例:訪問看護ステーション等) ・アップデートの課題はあるが、一覧があると認識してもらうには、手に取ってみる冊子配布が周知効果は高い場合もある。(横浜市)
学術関係者		<ul style="list-style-type: none"> ・各担当者が「QRコードを利用した方法」で確認等がタイムリーにできれば便利ではないかと考えます(大島先生) ○SQRC®:ひとつのコードに「公開」と「非公開」の2種類のデータを格納 ○IQRコード等 を関係者が携帯等に保存し、状況に応じ確認できる 等

6

■ 利用目的について

「 圏域外の病院と調整する際など、最初の繋ぎとして利用していただく 」

→ 詳細な情報については、既に所属や各市町村で把握しているケースがあり、所管地域以外の病院と連絡を取る際に活用されている

- ・項目は、回答する病院の負担を考慮し、最低限としたい（現行どおり）
※ ただし、回答の負担がかからないような項目であれば追加を検討

■ 周知・提供方法について（今後の課題）

→ **この窓口一覧を活用する方に確実に周知・提供される方法を検討**

- 例）
- ・ **公開範囲をどうするか（県HPへ公開して差し支えないか）**
 - ・ **会議、研修会等での周知・提供するか など**

【今後のスケジュール（見込み）】

- ・本日の会議において、今後の方向性を検討
- ・次回の会議において、本日の議論を踏まえた事務局案を提示し、御意見をいただく
- ・その上で、令和4年度中に調査実施、一覧化の上、周知・提供する



在宅医療推進協議会における部会について (訪問看護部会、リハビリテーション部会)

神奈川県健康医療局保健医療部医療課
令和3年11月22日(月)

1 - 1 訪問看護部会 概要

- 設 置：令和2年6月16日
- 委員数：5名（任期3年）
県看護協会、県訪問看護ステーション協議会、
県看護師等養成機関連絡協議会、ほか関係団体より選出
- 所掌事項
 - (1) 訪問看護の実態調査に係る計画・実施・報告・評価に関すること。
 - (2) 県の在宅医療における訪問看護の課題に関すること。
 - (3) 県内の訪問看護師の確保・育成に関すること。
 - (4) 県民及び医療従事者に対する訪問看護の普及啓発に関すること。
 - (5) その他、訪問看護の推進および他職種との連携に関すること。

※ 平成17年度～令和元年度までは、神奈川県訪問看護推進協議会訪問看護部会として運営していた。

1 - 2 今年度の取組み



■ 第1回会議（R3.7.29 Zoomによるオンライン開催）

【議題：令和3年度訪問看護推進支援事業について】

（委員からの意見）

- ・クリニック等、医療機関で実施している訪問看護についての実態把握が必要である。
- ・教育支援ステーション事業費補助の評価、今後の方向性について検討すべき。

■ 第2回会議（R3.10.15 Zoomによるオンライン開催）

【議題：県の在宅医療における訪問看護の課題及び今後の方向性について】

（委員からの意見）

- ・24時間体制に対応することや、今後増大することが予測される訪問看護のニーズに応えるため、事業所の大規模化やシステム構築に取り組んでいくべき。
- ・非常勤看護職員の割合が高い事業所について、経営との関連や、運営への影響を分析する必要がある。
- ・時間的、金銭的問題により、管理者が学べない環境がある。支援が必要である。
- ・出向事業や相互研修を通じて、医療機関と訪問看護ステーションが顔の見える関係になれるとよい。

3

1 - 3 今後の取組み



■ 第3回会議（R4.2月予定）

【議題：令和4年度訪問看護推進支援事業について（仮）】

（検討事項）

- ・第1回及び第2回訪問看護部会で議論した内容に基づき、令和4年度以降の訪問看護推進支援事業の展開について検討する。

4

2-1 リハビリテーション部会 概要



- 設 置 : 令和3年5月11日
- 委員数 : 21名 (任期: 3年)
学識経験者、保健・医療・福祉関係団体・機関及び行政機関より選出

■ 所掌事項

- (1) リハビリテーションに係る課題の調査・検討に関すること。
- (2) リハビリテーション連携推進のための指針の作成・改定に関すること。
- (3) リハビリテーション支援体制の整備に関すること。
- (4) その他リハビリテーションの推進について必要な事項に関すること。

※ 平成13年～令和2年度までは、神奈川県リハビリテーション協議会として運営していた。

5

2-2 これまでの取組み



※平成14年5月に神奈川県地域リハビリテーション連携指針を策定後、平成29年5月に指針を改定

■ 令和元年度会議 (R2.3.31~4.15)

【議題】

- (1) 地域リハビリテーションに関する県の取り組み
- (2) 神奈川県リハビリテーション支援センター事業の実施報告
- (3) リハ職が地域でより活躍するための方策について

■ 令和2年度会議 (R3.2.1~2.15 書面会議)

【議題：神奈川県リハビリテーション協議会における位置づけ変更について】

- これまで地域リハビリテーションの現状や課題については、県リハビリテーション協議会で議論してきたが、地域包括ケアにおける地域リハビリテーションの課題や多職種との連携等について議論を深めていく必要がある。
- このことを踏まえ、県リハビリテーション協議会を、在宅医療・介護を含む地域包括ケア推進のため、多職種が参画している県在宅医療推進協議会の部会として位置づけを変更することについて協議した結果、賛成多数により可決。

⇒ 県在宅医療推進協議会の部会として位置づけが変更された (R3~)

6

■ 第1回在宅医療推進協議会リハビリテーション部会 (R4.2月開催予定)

【議題（検討中）】

- (1) 地域リハビリテーションに関する県の取り組み
- (2) 神奈川県リハビリテーション支援センター事業の実施報告
- (3) リハ職が地域でより活躍するための方策について